

総務省人材育成研究会 事例発表資料



朝来市市長公室総合政策課

課長補佐 馬袋 真紀

自己紹介 馬袋 真紀 (ばたいまき)

▶ 朝来市役所 市長公室 総合政策課 課長補佐

H10年 山東町役場就職

教育委員会(4年)、〔H14産休・育休〕、総務課(4年)

H17年 合併により朝来市職員

地域自治のしくみづくり(H17～)、〔H18産休・育休〕

地域協働の指針(H19)、自治基本条例の制定(H20)

朝来市地域協働アクションプラン策定(H23～25)

シティプロモーション戦略の策定(H26～27)

ASAGOiNG人財育成プロジェクトの推進(H28～)

第2期朝来市創生総合戦略策定(R1)

第3次朝来市総合計画策定(R2～)

- ▶ 与布土地域自治協議会部会長
- ▶ 朝来市スポーツ推進員
- ▶ 第3期兵庫県地域福祉支援計画策定作業部会メンバー(H30)

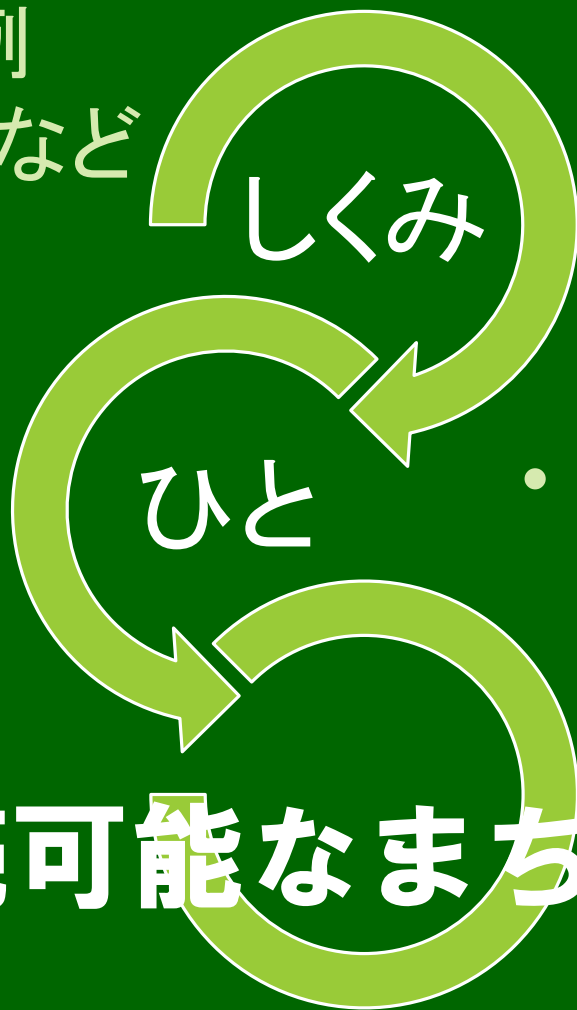
話題提供内容

1. 仕事や地域活動で大切にしていること
(事例紹介から)
2. これから地方公務員として求められる人材
3. 必要な人材育成の方策

話題提供内容

1. 仕事や地域活動で大切にしていること
(事例紹介から)
2. これから地方公務員として求められる人材
3. 必要な人材育成の方策

- 地域自治システム
- 協働指針、アクションプラン
- 自治基本条例
- 制度・補助金など



- 主体的な参画・活動
(職員・市民)

持続可能なまちづくり

「やってみよう」(主体性)を 育む場・実践する場づくり



- 「やってみよう」が育まれる
機会づくり
(出会い・対話の場など)
- 実現に向けた伴走
- 多様な挑戦を応援する
雰囲気・関係性づくり
- 誰でも多様な活動を
まちで展開
- 誰でも参画できる組織
(開放性)

「やってみよう」は こうして生まれてくる

(事例① 主体性を育む
きっかけづくり)
【仕事での関わり】

人と人がつながり、まちを知り 一歩踏み出すきっかけを創る

• あさご未来会議

- 高校生からご高齢の方まで参加し、対話する場
- 想いをまちづくりに反映
 - R1 創生総合戦略 5回開催
 - R2 総合計画 2回開催

あなたまちの未来 ASAGOiNG

中高生も大人も一緒に
あ、このまちの未来を語ろう

あさご未来会議

これからの朝来市のまちづくりを考える市民100人を募集します
ぜひ、「あなた」の声を聞かせてください



募集対象	朝来市在住・在勤、通学中または、朝来市の未来を共に考えてくれる方 100名	募集締切	2019年6月7日(金)
応募方法	裏面申込書をfax・郵送・ご持参頂くか、応募フォームより申込み 《応募フォーム》 www.asabura.jp/asago-mirakaigi		
会場	さんとう鐘風ホール (兵庫県朝来市山東町富貴寺95)		
第1回	7月13日(土) 13:30~16:30	いきいきとした私たちの暮らしと朝来市の将来の姿	
第2回	8月31日(土) 13:30~16:30	朝来市で活躍する「ひと」について語る	
第3回	9月28日(土) 13:30~16:30	魅力ある多様な「しごと」について語る	
第4回	10月19日(土) 13:30~16:30	希望をもち安心して暮らせる「まち」について語る	
第5回	11月9日(土) 13:30~16:30	We are ASAGOiNG! 「私の一歩」について語る	

【主催】 朝来市総合政策課 (tel) 079-672-6110 (mail) sougou@city.asago.lg.jp

人と人がつながり、まちを知り、 一歩踏み出すきっかけを創る①

- 高校生から大人まで100～140人が参加し
多様な市民の対話の場
- まちの動き、多様な市民の動きや考え方を知る場
(インナープロモーション)



人と人がつながり、まちを知り、 一歩踏み出すきっかけを創る②

- 主体性を育み、
まちに関わる
きっかけになる場
(市民の主体的な活動、
協働の推進)



- 市職員にとって、
市民との対話文化の醸成
(対話の重要性を知る、ファシリテーションスキルがアップ)



口コミで参加者が広がっていく

「やってみよう」は
こうして生まれてくる

(事例② 参画のきっかけづくり)

【仕事での関わり】

ママさんたちの 「ひと言」からの挑戦！

- ファミリー子育て教室の企画・運営



平成29年度



平成30年度

ママさんたちの 「ひと言」からの挑戦！

- ファミリー子育て教室の企画・運営



ママさん

来年も◎◎さんに来てほしいです！

では、一緒に企画しよう！



私



ママさん

うわ～、めっちゃ楽しそ～！



「やってみよう」は
こうして生まれてくる

（事例③ 対話の場から実践へ）

【仕事の関わりから個人の活動へ】

人と人がつながり、まちを知り 一歩踏み出すきっかけを創る

- あさごまちづくりカフェ
気軽に集い・対話する場



人と人がつながり、まちを知り 一歩踏み出すきっかけを創る

■あさごまちづくりカフェ参加者が意気投合し「あさごぜる」発足！



空き倉庫を有償で借りて、移住者・若者が気軽に集ったり、チャレンジする場づくり

人と人がつながり、まちを知り 一歩踏み出すきっかけを創る



昼間はカフェ、夜はBAR



多様な人が集い、学び合う⇒ネットワーク、きっかけ

「やってみよう」は
こうして生まれてくる

（事例④ 地域自治協議会編）

【個人の活動】

与布土地域自治協議会

（設立前）

与布土地域自治協議会設立に向けた 多様な人が参画する対話の場(H18)



与布土地域自治協議会座談会 対話の場で育まれた主体性

座談会の当初

「**発言**」
の喜び



「**共有**」
の喜び

個人の
「**思い**」



地域の
「**思い**」



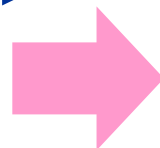
座談会の終盤

地域の「**行動**」

「**地域づくり**」は
楽しい！！

<感想カードから…>

「楽しかった」
「充実した時間だった」



「地域みんなの知恵と汗で
地域づくりを！」

与布土地域自治協議会

（設立10年以上経過した今）

与布土地域自治協議会 対話の場で合意形成の事例

■ 重点プロジェクト(農業振興) H30.10～



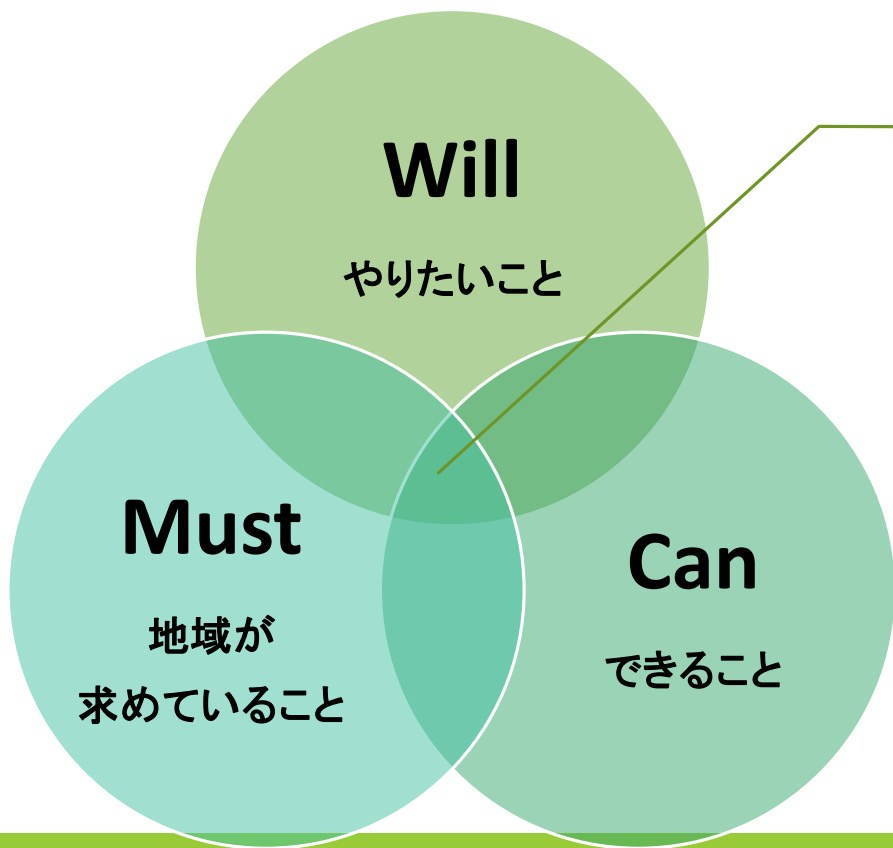
与布土地域自治協議会 対話の場で共有と主体形成の事例

■ 重点プロジェクト(高齢者福祉) H30.11～



与布土地域自治協議会 生き生きとした活動につなげる対話

■ いきいきとした活動につなげるために



地域活動に！

Will + Can ⇒ 独りよがり、自己満足

Can + Must ⇒ やらされ感

Will + Must ⇒ 絵に描いた餅

Will・Can・Must の重なり合う できるところから活動スタート！



農業の作業受託コーディネーター



地域商社の活動に向けての第一歩

Will・Can・Must の重なり合う できるところから活動スタート！



令和2年4月
一般社団法人よふどの恵 設立

- 農地管理
- 農村観光
- 都市農村交流
- 地域商社
- 地域福祉

与布土地域自治協議会

（若者の地域活動への参加）

与布土地域自治協議会 若者が地域づくりに参画するポイント

- いつからでも
- 誰でも

参加できる

楽しい場

- やりたいことが実現
(主体性の発揮)
- 心地よい居場所
(役割、仲間など)

開かれた場

共感する活動

- 活動が
「おもしろそう」
「やりたい」
「大切なこと」
(ビジョンの共有)
- 「やりたい！」情熱

与布土地域での若者がつながり 地域で楽しむ開かれた場づくり

- ◆ **いつでも、だれでも**
開かれた場(会議、事業、飲み会)
- ◆ **飲み会という名の...**
作戦会議、多様な人と人がつながる場



「この指とまれ！」方式で次々と生まれる与布土地域の若者の活動



子育て世代移住希望者向け
与布土暮らし体験会の開催

「この指とまれ！」方式で次々と生まれる与布土地域の若者の活動



地元の若者や移住者の得意なことを地域の方に知ってもらい互いに応援しあうことを目的に開催したマルシェ・移住者交流会

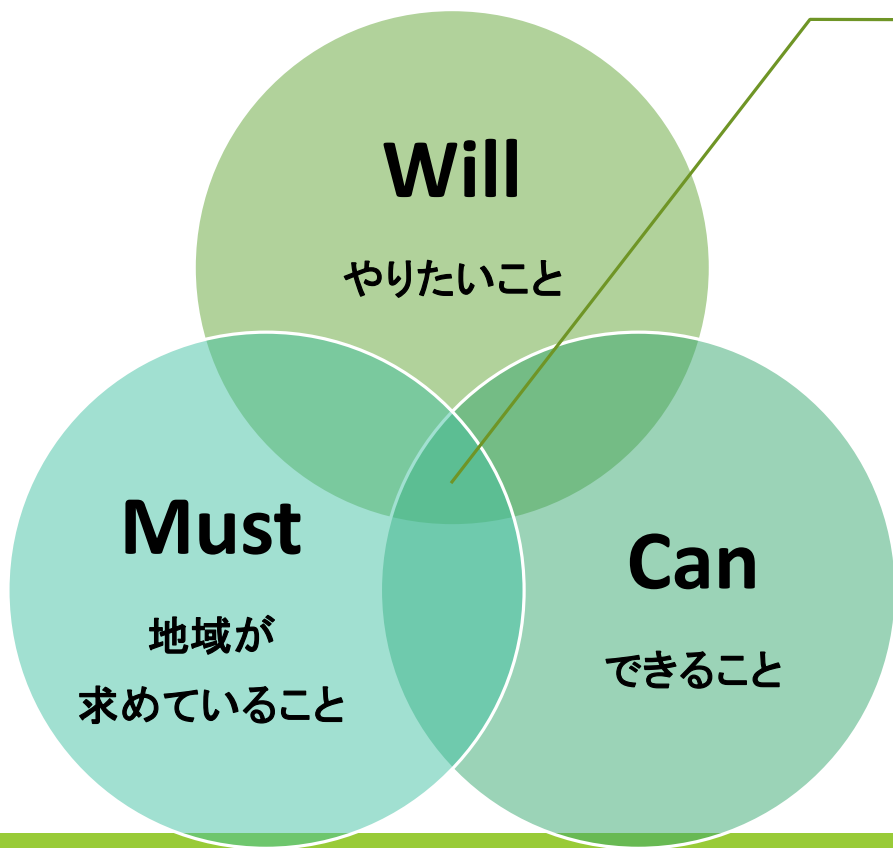
「この指とまれ！」方式で次々と生まれる与布土地域の若者の活動



若者発の活動に地域のおいちゃん・おばちゃんたちも賛同して応援！

「この指とまれ！」方式で次々と生まれる 与布土地域の若者の活動はWill優先！

■ いきいきとした活動につなげるために



地域活動に！

Will + Can ⇒ 独りよがり、自己満足
Can + Must ⇒ やらされ感
Will + Must ⇒ 絵に描いた餅

● 与布土地域のワカモノの場合

- ・ Mustは後からついてくる
Will優先の楽しさ
- ・ 地域からの評価を伝えることが
次のモチベーションに

多様な主体の多様な主体的な活動を育む翻訳家の必要性

■与布土地域の活動実践から感じた年代による違い

	シニア層	ワカモノ
はじめるきっかけ	使命感・義務感	おもしろそう
進め方・手法	形式的	実質的
継続	使命感・義務感	楽しい
活動の視点	地域課題の解決	未来創造思考

多様な主体の多様な主体的な活動を育む翻訳家の必要性

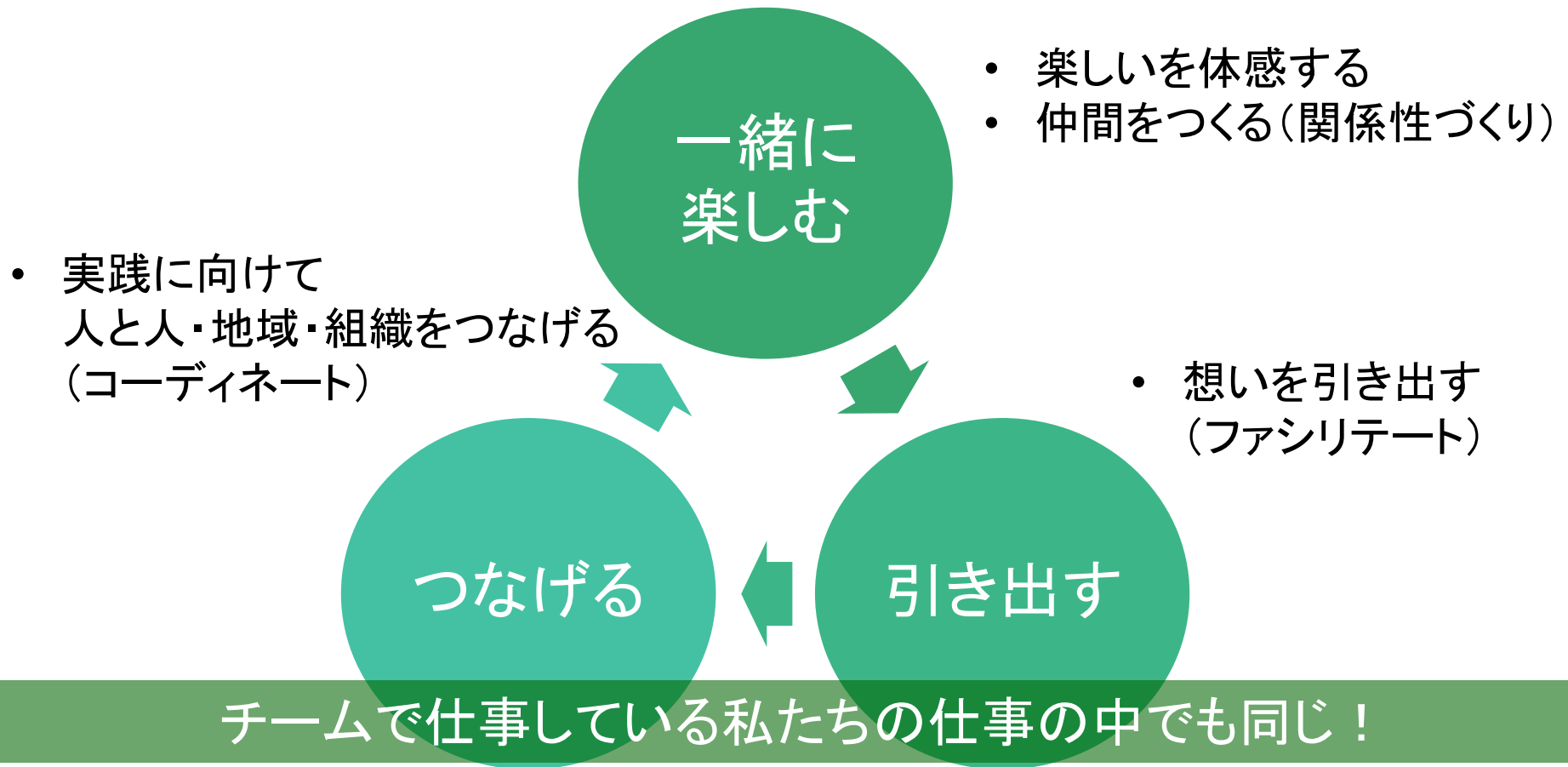
ワカモノの活動の言語化による価値の共有
(思いの翻訳係)

ワカモノの活動の公共性、公益性の理解

役員などのシニア層の理解

ワカモノへの評価、期待、認知により
ワカモノもモチベーションUP！

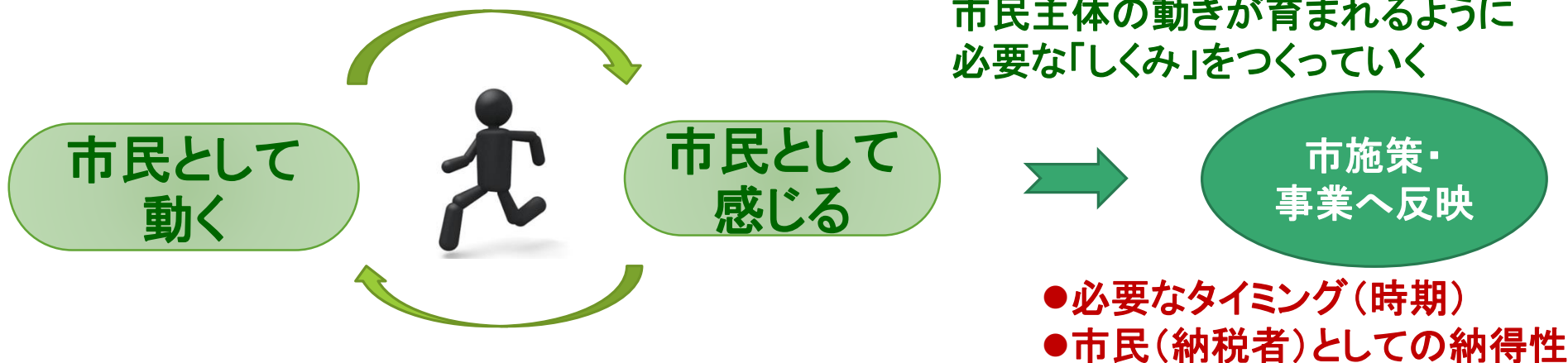
市民の主体的な地域活動の 応援に私たちができること



地域活動の気づき・学びを 市役所の仕事に活かす(つなげる)

◆ 地域での活動を仕事につなげる

- 市民として動くから得られる気づき
- 地域と仕事を同時進行でPDCAを回すことで得られるスピード感
(地域活動は小さな社会実験、活動から理論を導く) ⇒ **抽象化、概念化**
- 活動から得られる市民との信頼関係



話題提供内容

1. 仕事や地域活動で大切にしていること
(事例紹介から)
2. これから地方公務員として求められる人材
3. 必要な人材育成の方策

自治体経営も地域経営も 対話から始まる

見えるようにするには？

- 市民と一緒に**対話**する
- 市民と一緒に**楽しむ**
- 市民と一緒に**活動**する

② 将来像に近づけるよう
将来像から引っ張る

将来像



③ 将来像に向かって歩めるよう
課題を解決していく



① 市民と
将来像を
共有する

現在

これからの自治体職員に必要なこと ～ 私の実践からいえること～

①自治体職員としての基礎的な力(市役所内&市民との関係性)

• ファシリテーション力

想いを引き出す、活動をしやすくする

• コーディネート力

人と人をつなげる、思いをつなげる、翻訳家

• 問題把握能力

洞察力、気づく力、共感力、想像力、分析能力

• 政策立案能力

考える力、計画力

• 実行力、チームで進めていく力

一歩を踏み出す力、考えながら動く柔軟性

共感によりチーム内・他部署・他団体との関係性を構築(主体性引き出す)

• コミュニケーション能力

聴く力、伝える力、調整力

これからの自治体職員に必要なこと ～ 私の実践からいえること～

② 人と人をつなぐ

- 多様な人財をつなぐ 市民と市民、市民と行政
- 制度や部署の狭間をつなぐ、三遊間ゴロがとれる人(境界を作らない)
(今まで見えてなかった、声が届いていなかった、潜在的なところをつなぐ)

③ 気づいた責任

- 地域の課題、社会の課題に気づいたときに、
住みやすい地域や社会に変えていく一歩を踏み出す。
一人ひとりが踏み出せば、大きく地域や社会が変わる
- 風邪気味の段階で早めの対応を！(専門性×生活者)

③ 楽しいが原動力

- 楽しいが原動力、楽しいは連鎖し、楽しいところに人は集まる
- 仕事や活動を通して得た仲間は良き理解者であり、応援団

話題提供内容

1. 仕事や地域活動で大切にしていること
(事例紹介から)
2. これから地方公務員として求められる人材
3. 必要な人材育成の方策

必要な人材方策 ～職場環境があつてこそその仕事や活動～

1 職場内の仕組み

- ・朝来市自治基本条例
第9条(職員の責務)一部抜粋

職員は、自らも地域社会の一員であることを認識し、積極的に市民と連携して、まちづくりに取り組まなければならない。

必要な人材方策 ～職場環境があつてこそその仕事や活動～

2 職場環境

- ①先輩職員と市民との信頼関係による
仕事の効率化と効果の最大化(組織文化)
- ②まちづくりの基本理念や仕事の進め方で
大切にしたいことの職場内の共有化(理念の共有)
- ③複数部署が連携した分野横断型、境界(狭間)を
作らない事業展開
- ④職場内の対話しやすい雰囲気(職場内の対話文化)

必要な人材方策

～職場環境があってこそその仕事や活動～

- ⑤ 新たなチャレンジに対する職場内の応援雰囲気、
一体感(挑戦しやすい組織)
- ⑥ 方向性を示し走りながら考える柔軟な制度設計と行動
(洞察→分析→論理的思考→行動 ループの実行)
- ⑦ 若手職員PTによる分野を超えたプロジェクト参加
- ⑧ 実践を通して論理や手法を学び、力を育む(実践型OJD)
(体験を通して主体的な学びへ)
- ⑨ 職場内で互いの地域での活動を応援、協力
(地域活動への参画を通して学ぶ)

ありがとうございました